令和８年度

（令和７年度実績）

事　業　概　要

新 潟 県

新発田食肉衛生検査センター

目　次

第１章　新発田食肉衛生検査センターの概要‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1
１　沿革
２　組織及び所管施設
（１）職員構成
（２）所掌業務
３　配置図
４　庁舎平面図
５　検査手数料

第２章　と畜検査業務‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 6
１　と畜場の概要
２　検査頭数
３　検査頭数の推移
４　とさつ禁止及び廃棄状況
５　疾病発生状況
６　と畜場及び食肉処理施設の監視指導状況
（１）と畜場の監視指導状況
（２）と畜場併設の食肉処理施設の監視指導状況
７　食肉衛生証明書の発行状況
８　防疫演習

第３章　食鳥検査業務‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 10
１　大規模食鳥処理場
（１）概要
（２）検査羽数の推移
（３）食鳥検査結果
（４）大規模食鳥処理場の監視指導状況
（５）大規模食鳥処理場併設の食肉処理施設の監視指導状況
（６）食肉衛生証明書の発行状況
（７）防疫演習
２　認定小規模食鳥処理場

第４章　精密検査業務‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 13
１　試験室内における精密検査状況
（１）微生物学的検査状況
（２）病理組織学的検査状況
（３）理化学的検査状況
２　残留動物用医薬品等検査状況
（１）残留検査状況
（２）モニタリング検査状況
３　清浄度確認検査状況
（１）微生物汚染検査状況
（２）ATP 拭き取り検査

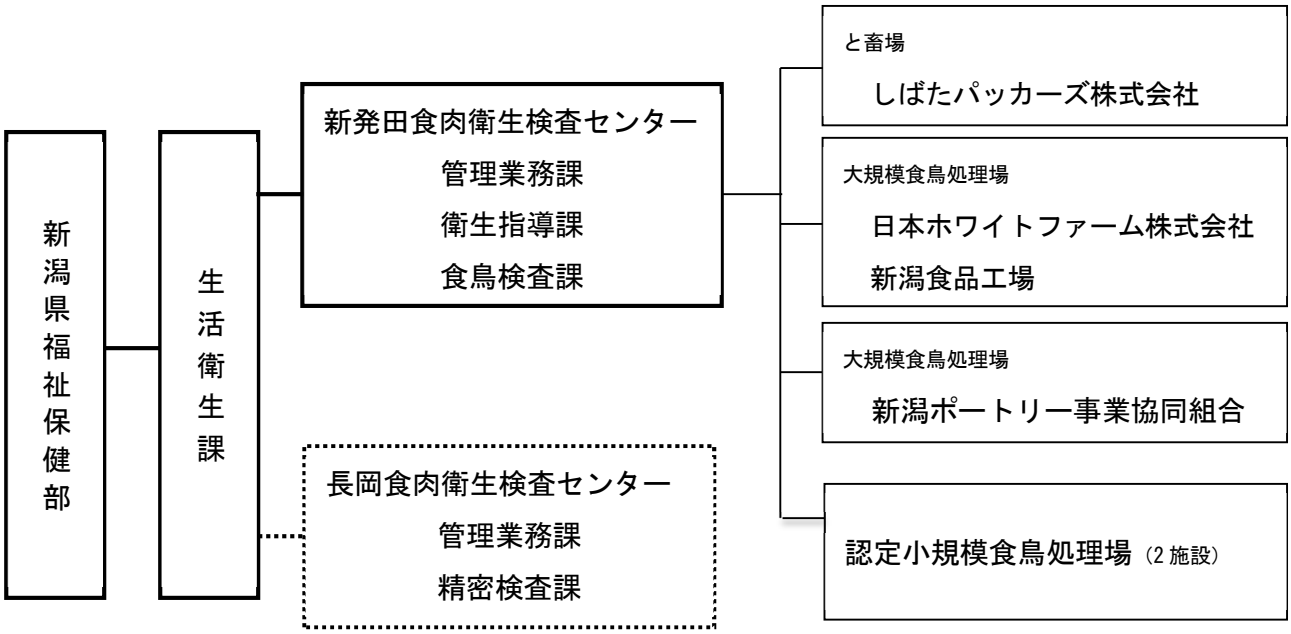
第５章　調査研究事業‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 16

第１章　新発田食肉衛生検査センターの概要

１　沿革

昭和 35 年１月　新津枝肉センターが開設され、新津保健所獣医師が専任と畜検査員として常駐する。
昭和 36 年４月　新津保健所・新津と畜衛生検査所を設置し、新津枝肉センターを所管する。
昭和 36 年 10 月　新津保健所・新津と畜衛生検査所が独立し、新津と畜衛生検査所となる。
昭和 42 年４月　と畜衛生検査所を食肉衛生検査所に名称変更する。
昭和 47 年９月　下越広域食肉センターが新発田市に開設され、新発田保健所が所管する。
昭和 48 年４月　下越広域食肉センターを新津食肉衛生検査所が所管する。
昭和 49 年４月　食肉衛生検査所を設置する。本所（新津）、支所（新発田・長岡・上越）及び駐在所（三条・両津・村上・堀之内・十日町・柏崎）をもって県内と畜場を所管する。
平成４年４月　食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の施行に伴い、大規模食鳥処理場の監視指導及び食鳥検査業務を新発田支所において開始する。
平成５年４月　組織機構を再編し、食肉衛生検査センターを新発田市に、食肉衛生検査センター長岡検査所を長岡市に設置する。
認定小規模食鳥処理場における監視指導業務を保健所から移管し、食肉衛生検査センター及び同長岡検査所において開始する。
平成６年３月　食肉衛生検査センター新庁舎竣工する。
平成 17 年４月　設置条例の改正により食肉衛生検査センターを新発田食肉衛生検査センターに、食肉衛生検査センター長岡検査所を長岡食肉衛生検査センターに再編成する。

２　組織及び所管施設



（１）職員構成（令和８年４月１日）

区分	技術職員 （獣医師）	事務職員	会計年度 任用職員	計
所長	1 食鳥検査課長兼務	0	0	1
次長	1 管理業務課長兼務	0	0	1
管理業務課	3	1	1 （検印補助）	5
衛生指導課	3	0	0	3
食鳥検査課	3	0	8 （獣医師）	11
計	11	1	9	21

（２）所掌業務

管理業務課

ア　庶務全般に関する事項

イ　と畜検査に関する事項

ウ　食肉衛生に係る調査研究に関する事項

エ　他課に属しない事項

衛生指導課

ア　と畜場の衛生保持に関する事項

イ　食肉衛生の監視指導に関する事項

ウ　と畜検査及び残留医薬品等に係る精密検査に関する事項

食鳥検査課

ア　食鳥検査に関する事項

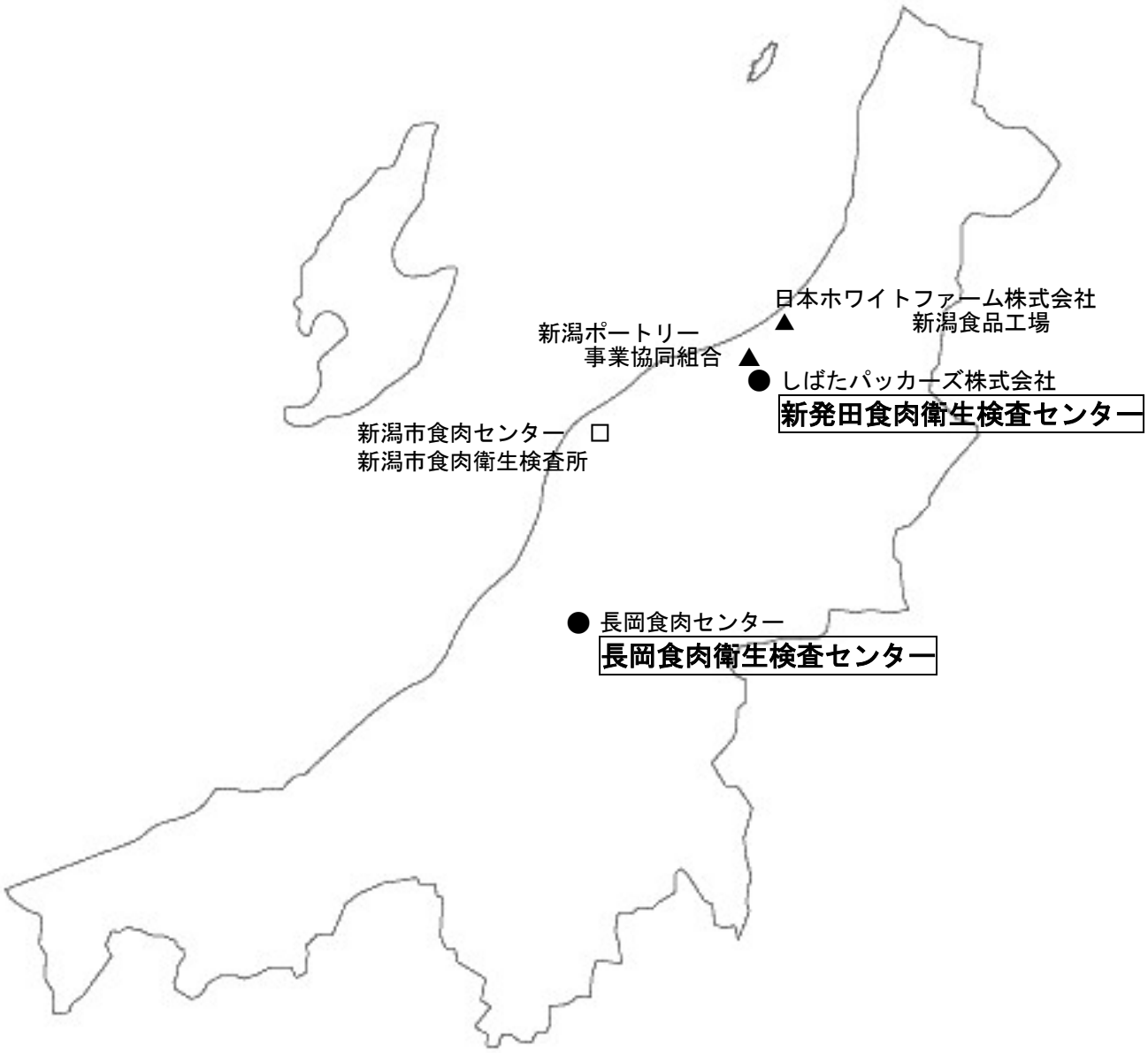
イ　食鳥処理場の衛生保持に関する事項

ウ　食鳥肉衛生の監視指導に関する事項

エ　食鳥検査に係る精密検査に関する事項

オ　食鳥肉衛生に係る調査研究に関する事項

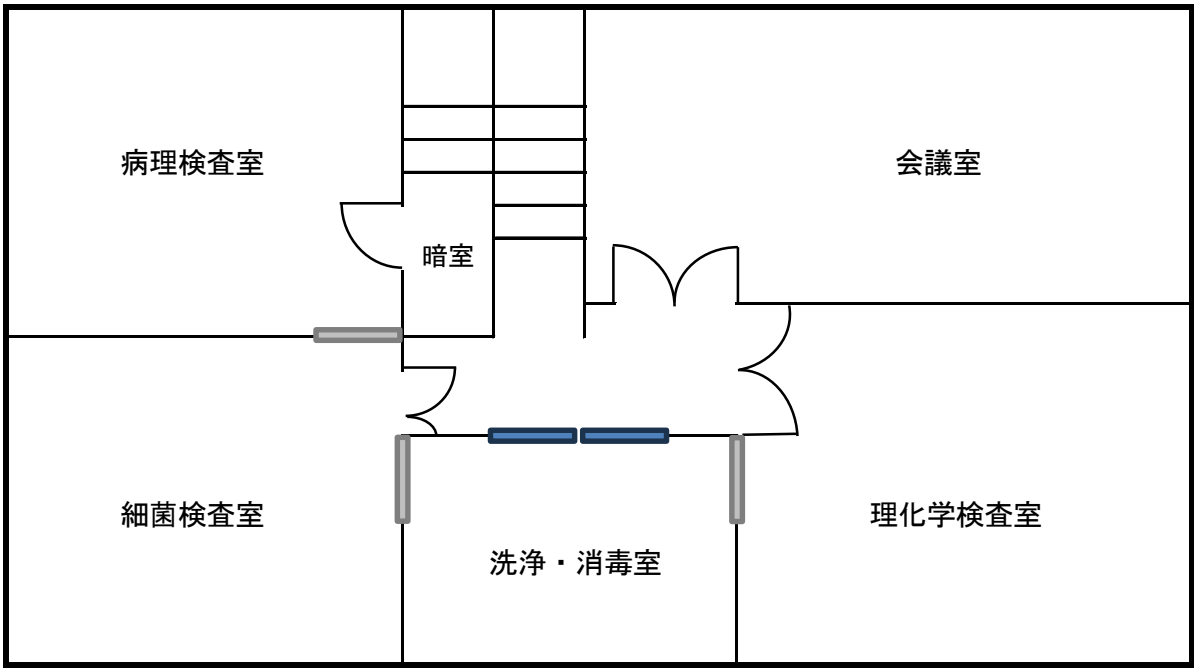
３　配置図



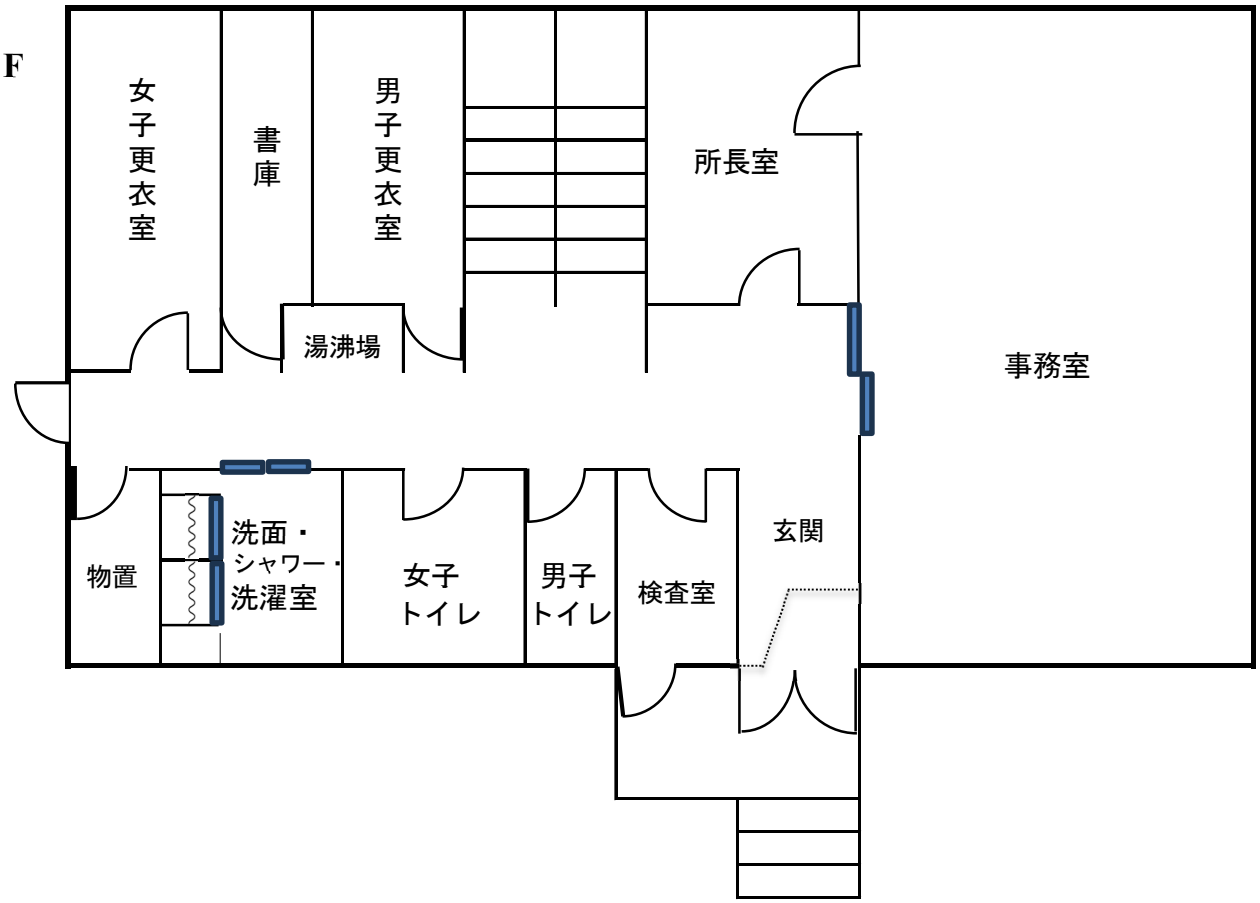
●	食肉衛生検査センター及び所管する一般と畜場
□	新潟市（政令指定都市）が設置する食肉衛生検査所及び所管する一般と畜場
▲	大規模食鳥処理場

4　庁舎平面図

3F



2F



1F　新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部　下越動物保護管理センター

５　検査手数料

（１）と畜検査手数料（１頭当たり）

畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊
金額	1,200 円	400 円	1,200 円	400 円	400 円	400 円

（２）食鳥検査手数料（１羽当たり）

４円

（３）その他の手数料

名称	手数料
福祉保健部関係輸出証明書発行手数料 （農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律第 15 条第 2 項）	1,000 円
福祉保健部関係適合施設認定申請手数料 （農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律第 17 条第 2 項）	現地において調査を行う場合　20,900 円 その他の場合　10,400 円
一般と畜場設置許可申請手数料	23,300 円
簡易と畜場設置許可申請手数料	10,200 円
食鳥処理事業許可申請手数料	19,200 円
食鳥処理場の構造又は設備変更許可申請手数料	10,000 円
認定小規模食鳥処理業者の確認規程認定申請手数料	6,000 円
認定小規模食鳥処理業者の確認規程変更認定申請手数料	2,400 円

第２章　と畜検査業務

１　と畜場の概要

名称	と畜場番号	開設年月日	運営主体 と畜場所在地	一日処理能力（頭）	汚水処理施設（１日能力㎥）	輸出認定
しばたパッカーズ株式会社	1	H26.10.15	しばたパッカーズ株式会社 新発田市奥山新保427 TEL　0254-22-2334	小動物 1,000	1,000	香港

参考

長岡食肉センター	4	H31.4.1	株式会社長岡食肉センター 長岡市新開町3073-3 TEL　0258-27-5923	大動物 30 小動物 600	750	
新潟市食肉センター	101	H5.4.1	公益財団法人 新潟ミートプラント 新潟市西区中野小屋1631 TEL　025-261-2100	大動物 30 小動物 900	1,200	

２　検査頭数

畜種／と畜場	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊	合計
しばたパッカーズ株式会社	0	0	0	169,435	0	0	169,435

参考

長岡食肉センター	1,729	76	0	64,486	0	0	66,291
新潟市食肉センター	869	0	0	186,440	0	0	187,309

３　検査頭数の推移

と畜場名	畜種	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
しばたパッカーズ株式会社	豚	163,280	164,670	171,037	165,771	169,435

４　とさつ禁止及び廃棄状況

畜種			豚		
と畜検査頭数			169,435		
処分実頭数			禁止	全部廃棄	一部廃棄
			0	19	107,444
疾病別頭数	細菌病	炭疽			
		豚丹毒			
		サルモネラ症			
		結核			
		ブルセラ症			
		破傷風			
		放線菌病			
		その他			
	ウイルス・リケッチア病	豚熱			
		その他			
	原虫病	トキソプラズマ症			
		その他			
	寄生虫病	のう虫病			
		ジストマ病			
		その他			
	その他の疾病	膿毒症		7	
		敗血症		11	
		尿毒症			
		黄疸		1	5
		水腫			279
		腫瘍			143
		中毒諸症			
		炎症又は炎症産物による汚染			106,532
		変性又は萎縮			521
		その他			2,668
	計		0	19	110,148

５　疾病発生状況

疾病頭数（全部廃棄＋一部廃棄）	
カタル性肺炎	90,385
その他の肺炎	1,752
肺膿瘍	1,415
胸膜炎	15,816
胸膜膿瘍	751
心外膜炎	7,213
心筋炎	4
疣状心内膜炎	14
肝包膜炎	8,148
肝膿瘍	12
肝硬変	215
肝炎	851
肝脂肪変性	69
寄生虫性肝間質炎	5,475
胃炎	344
腹膜炎	2,741
小腸炎	4,923
大腸炎	292
腸気泡症	67
リンパ節膿瘍	81
腸間膜リンパ節乾酪変性	348
ヘルニア	1,446
腎炎	58
嚢胞腎	694
膀胱炎	0
子宮内膜炎	0
皮下炎症	3,810
筋膿瘍	353
筋炎・筋出血	32
筋膠様浸潤	0
関節炎	158
関節膿瘍	1
骨膿瘍	141
脱臼	0
骨折	18
外傷	522
奇形	5
黄疸	6
腫瘍	143
水腫	279
その他の炎症	2
その他の変性	385
その他の寄生虫病	0

６　と畜場及び食肉処理施設の監視指導状況

（１）と畜場の監視指導状況

ア　会議・研修会

実施内容	実施回数	対象者	延べ参加人数
HACCP 意見交換会	5	と畜場従業員	26
と畜業務意見交換会	6	と畜場従業員	25
衛生講習会	1	と畜場従業員	53

イ　外部検証

実施内容	実施回数
施設・設備の衛生管理、衛生的なと殺・解体、枝肉の冷蔵保管状況、頭部・内臓の取扱い、従業員の衛生管理、生体の取扱い等	249
定期監視（HACCP 記録確認、作業中・清掃後監視等）	12

ウ　その他

実施内容	実施回数
製品（内臓・豚足等）出荷作業及び運搬車両の衛生状態の確認	2(8 業者)
浄化槽監視	1

（２）と畜場併設の食肉処理施設の監視指導状況

ア　会議・研修会

実施内容	実施回数	対象者	延べ参加人数
HACCP 意見交換会	10	食肉処理施設従業員	33
衛生講習会	1	食肉処理施設従業員	78

イ　監視指導

実施内容	実施回数
定期監視（HACCP 記録確認、作業中・清掃後監視等）	12

７　食肉衛生証明書の発行状況

輸出先国	件数
香港	0
その他	0

8　防疫演習

実施内容	実施回数	参加機関（人数）
農場での異常畜発生時の初動対応、退場者・車両の消毒、当所の対応、家畜保健衛生所の対応、帰庁までの手順等を想定した防疫演習（実働演習）	1	と畜場（7） 家畜保健衛生所（4） 当所（4）

第３章　食鳥検査業務

１　大規模食鳥処理場

（１）概要

名称	開設 年月日	所在地	敷地 面積 (㎡)	建物 面積 (㎡)	一日 処理能力 (羽)	汚水 処理能力 （１日処理 能力㎥）	輸出 認定
日本ホワイトファーム 株式会社新潟食品工場	H24.6.1	新発田市藤塚 浜3310-8	14,331	3,375	ブロイラー 32,000	700	香港 ベトナム
新潟ポートリー 事業協同組合	H6.12.12	新発田市舟入 1047	4,271	1,233	成鶏 18,000	300	ベトナム

（２）検査羽数の推移

処理場名	種類	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
日本ホワイトファーム 株式会社新潟食品工場	ブロイラー	8,046,757	7,467,028	8,191,091	7,853,489	7,669,783
新潟ポートリー 事業協同組合	成鶏	3,759,485	3,718,474	3,391,856	2,987,008	3,711,415
合計		11,806,242	11,185,502	11,582,947	10,840,497	11,381,198

（３）食鳥検査結果

検査羽数 / 疾病名	ブロイラー			成鶏		
	7,669,783			3,711,415		
	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄
鶏白血病						
マレック病						
大腸菌症		28,700				
ブドウ球菌症						
敗血症						
原虫病						
変性						
水腫						
腹水症	7,368			18,775	5	
出血						
炎症			205,014			464
腫瘍					9,200	
臓器の異常な形						
黄疸						
外傷				1		
削痩・発育不良	34,776			6,426		
放血不良	246			6,064		
湯漬過度	1,285			2,604		
その他						
合計	43,675	28,700	205,014	33,870	9,205	464

（４）大規模食鳥処理場の監視指導状況

ア　会議・研修会

実施内容	実施回数	対象者	参加人数
処理場の衛生管理に関する業務調整会議	2	処理場従業員	11
衛生講習会	2	処理場従業員	47

イ　外部検証

実施内容	実施回数
現場検査（施設・設備の衛生管理、衛生的な食鳥処理、食鳥肉の冷蔵保管状況、従事者の衛生管理、生体の取扱い等）	536
記録検査	7

ウ　監視指導

実施内容	実施回数
食肉衛生強調月間事業等（作業前監視、作業中監視、清掃状況確認等）	5

（５）大規模食鳥処理場併設の食肉処理施設の監視指導状況

実施内容	実施回数
定期監視および食肉衛生強調月間事業等	27

（６）食肉衛生証明書の発行状況

輸出先国	件数
香港	21
ベトナム	4
その他	0

（７）防疫演習

実施内容	実施回数	参加機関（参加人数）
高病原性鳥インフルエンザ発生時を想定した防疫演習 （机上演習＋実働演習）	2	大規模食鳥処理場（34） 家畜保健衛生所（6） 当所（8）

２　認定小規模食鳥処理場

概要及び監視指導状況

処理場数	食鳥の種類	処理羽数	廃棄羽数		衛生監視件数
			全部	一部	
2	成鶏	597	0	0	4

第４章　精密検査業務

１　試験室内における精密検査状況

対象	畜種	微生物学的検査		病理組織学的検査		理化学的検査※1		合計	
		頭数	件数※2	頭数	件数※3	頭数	件数	頭数	件数
異常畜	豚	15	150	1	9	2	2	18	161
病畜	豚	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		15	150	1	9	2	2	18	161

※1 血液生化学検査　　※2 件数 = 培養臓器数　　※3 件数 = 検査検体数

（１）微生物学的検査状況

畜種	頭数	細菌分離頭数	分離・同定微生物別頭数	検査検体数
			Streptococcus 属菌	
豚	15	10	10	150
合計	15	10	10	150

（２）病理組織学的検査状況

畜種	頭数	診断結果	検査検体数
		全身性非定型豚抗酸菌症	
豚	1	1	9
合計	1	1	9

（３）理化学的検査状況

畜種	頭数	総ビリルビン値（mg/dL）		血清尿素窒素値（mg/dL）		検査検体数
		2.0 未満	2.0 以上	100 未満	100 以上	
豚	2	1	1	0	0	2
合計	2	1	1	0	0	2

「高度の黄疸」の判定基準：血清総ビリルビン値が 2.0 mg/dL 以上はとさつ・解体禁止あるいは全部廃棄

「尿毒症」の判定基準：血清尿素窒素値が 100 mg/dL 以上はとさつ、解体禁止あるいは全部廃棄

2　残留動物用医薬品等検査状況

（1）残留検査状況

区分	頭数	豚	合計
異常畜	検査頭数	16	16
	陽性頭数	0	0
病畜	検査頭数	0	0
	陽性頭数	0	0
合計	検査頭数	16	16
	陽性頭数	0	0

（2）モニタリング検査状況

畜種	検査頭羽数	抗生物質製剤 検査件数
豚	30	30
鶏	24	24
合計	54	54

3　清浄度確認検査状況

（1）微生物汚染検査状況

検査目的	畜種	検体名	採取 検体数	検査項目	
				一般細菌	腸内細菌科菌群
衛生指導	豚	とたい・枝肉・食肉	0	0	0
		施設・設備等	78	78	78
	鶏	とたい・食鳥肉	89	89	89
		施設・設備等	50	50	50
外部検証	豚	胸部（皮あり）	60	60	60
	鶏	胸皮	120	120	120
合計			397	397	397

（2）ATP 拭き取り検査

検査目的	対象	検体数
衛生指導	食鳥処理場	8

第５章　調査研究事業

・ブロイラーの中抜とたいから分離された大腸菌の薬剤感受性調査と調査結果フィードバックの取り組み

令和７年度食肉衛生検査職員研修会　令和７年６月 18 日

令和７年度全国食肉衛生検査所協議会微生物部会研修会　令和７年９月 26 日

令和７年度食肉及び食鳥肉衛生研究発表会　令和８年１月 23 日

〇星野麻衣子　豊島たまき　今野遥子　中林ゆうこ　大関桂子

・豚の視覚環境に配慮した皮下出血発生率低減策の検討

令和７年度食肉衛生検査職員研修会　令和７年６月 18 日

令和７年度全国公衆衛生獣医師協議会調査研究発表会　令和７年９月５日

〇佐久間靖子

・と畜場アニマルウェルフェアの観点から行った豚生体の搬入状況調査について

令和７年度食品衛生監視員・環境衛生監視員合同研修会　令和８年２月６日

〇佐久間靖子　熊倉充得

・大規模食鳥処理場で冷蔵保管したとたいの菌数調査

令和７年度食品衛生監視員・環境衛生監視員合同研修会　令和８年２月６日

〇今野遥子　星野麻衣子　豊島たまき　大関桂子

・新潟県における猫の *Corynebacterium ulcerance* 保有状況調査及びその対応について

令和７年度全国公衆衛生獣医師協議会調査研究発表会　令和７年９月５日

〇池田たま子（新潟県保健環境科学研究所在籍時の研究）

令和８年度　事業概要

（令和７年度実績）

令和８年 10 月発行

発行者　新潟県新発田食肉衛生検査センター
〒957-0064
新潟県新発田市奥山新保 430 番地
TEL　0254-24-5281
FAX　0254-26-2117
E-mail　ngt042020@pref.niigata.lg.jp
HP　https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shibatakensa/